



移植の輪を広げる情報誌

Miyazaki Organ Transplant Topics

MOTTO

Vol.54

令和8年1月 発行

発行/公益財団法人 宮崎県移植推進財団



ホームページ
はこちら
からどうぞ

一人ひとりのいのちが尊重される社会をめざして

公益財団法人宮崎県移植推進財団は、臓器移植に関する知識の普及啓発や臓器提供に関わる医療機関への支援など、臓器移植を推進するために必要な事業を行い、もって県民の健康と福祉の向上に寄与することを目的とした県内で唯一の機関です。

みやざき“いのちのリレー”ポスターコンテスト2025 入賞作品

このコンテストは、入賞作品の展示を通じて県民の皆様へ、移植医療を推進する上で重要となる臓器提供意思表示への協力を促すとともに、次代を担う中学生・高校生が応募をきっかけに、移植医療に関連する「寄り添うこと」「やさしさ」「思いやり」「いのちのつながり」を理解し、ご家族と移植医療のことを話し合うことで、より多くの人がいのちの大切さを考えることを期待し実施するものです。

応募作品の審査は、昨年度まで全ての作品を対象に行っていましたが、若い世代により一層の関心を持ってもらえるよう、4回目となる今年度から募集方法を「中学生の部」と「高校生以上の部」の2部門に分け、それぞれ入賞作を決定し、臓器移植普及推進月間（10月）に表彰式を、その後に展示会を行いました。

最優秀賞

中学生の部



日南市立吾田中学校2年 土田 来歩さん

高校生以上の部



宮崎日本大学高等学校1年 大西 彩巴さん

優秀賞

中学生の部



宮崎県立大宮中学校3年
武田 奈々さん

高校生以上の部



宮崎日本大学高等学校1年
黒木 葵衣さん

佳作

中学生の部



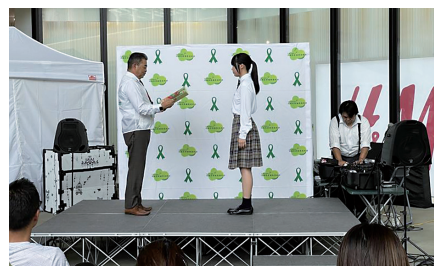
延岡市立南中学校2年
友清 絵菜さん

高校生以上の部



宮崎日本大学高等学校1年
松井 ちひろさん

表彰式



審査員による審査



今年は昨年より2校多い17校から91点の応募がありました。

審査に当たった審査員（有識者）からは「高校生は毎年レベルアップしており、特に上位の作品は表現力が確かで個性の表し方も見応えがあった。中学生は伝えたい気持ちを素直に表現した作品が多かった。自分が最も伝えたいことに絞って描くと、より個性的で力強いものになるので参考にしたい」とのコメントをいただきました。

表彰式（10/18 イオンモール宮崎）には受賞者6名全員が出席し、宮崎県腎臓病協議会長の横山真三様から賞状の授与と応募に対する感謝とお礼のあいさつをいただきました。

入賞作品展示（ポスター展）



イオンモール宮崎（10/19～24）



県企業局庁舎ギャラリー（11/18～24）



みやざき“いのちのリレー”ポスターコンテスト2025

主催

宮崎県腎臓病協議会 宮崎県移植推進財団

後援

宮崎県 宮崎県教育委員会 宮崎県医師会
宮崎県看護協会 日本臓器移植ネットワーク
朝日新聞社 読売新聞西部本社 毎日新聞社
宮崎日日新聞社 夕刊デリー新聞社
NHK宮崎放送局 MRT宮崎放送 UMKテレビ宮崎
MCN宮崎ケーブルテレビ

募集期間

令和7年7月23日～9月5日

表彰式

令和7年10月18日（土）イオンモール宮崎で開催された「グリーンリボンキャンペーン2025」の中で実施

臓器移植普及推進月間の取組



グリーンリボンキャンペーン 2025



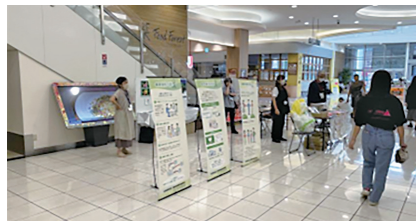
キャンペーンの天使
ハーディー

令和7年10月18日（土）にイオンモール宮崎でグリーンリボンキャンペーン2025を開催しました。当日は天候にも恵まれ、ヒナタテラスのステージでは世代を超えて楽しめる「バルーンツイスターゆーき&リリー」さんのバルーンアートで会場に暖かい雰囲気を作っていただき、直後の「いのちのリレー」ポスターコンテスト入賞作品の表彰式ではたくさんのエールをいただきました。また受賞者の祝福に来てくれた宮崎県のシンボルキャラクター みやざき犬の「ひいくん」にはこの後もお手伝いをいただき、臓器提供に対する考えを家族と共有することの大切さをわかりやすく伝えることができました。レストランコートの展示ブースでは、臓器移植に関する啓発ポスター展示やリーフレット配布のほか、「“今”のあなたはどれですか？」と題し、来場者が臓器提供意思表示の状況をシールで貼付するアンケートの要素を取り入れたポスターを掲示しました。月間ではこのキャンペーンのほか、前述のコンテストポスター展（2会場）、啓発パネル展示（県防災庁舎1階）、県新規採用職員への啓発、県庁本館グリーンライトアップ等に取り組ましました。取組に当たりご協力いただいた関係機関の皆様にご心から感謝申し上げます。

グリーンリボンキャンペーン 2025（10/18 イオンモール宮崎）



県防災庁舎啓発パネル展示
（10/1～15）



新規採用県職員に対する啓発
（10/24 新規職員後期研修会場）



県庁本館グリーンライトアップ
（10/16、24～28）



（一口メモ）臓器提供の意思表示の方法

意思表示を行う方法として、マイナンバーカードや運転免許証に表示欄が設けられていますが、これら公的証明書をお持ちでない方も、インターネットからの登録（日本臓器移植ネットワーク（JOT）ホームページの「意思登録サイト」）や「臓器提供意思表示カード」で行うことができます。一旦記入した意思表示を変更することも可能です。

もしものときのあなたの意思を予め表示しておくことは、多くのいのちを救う社会の実現につながっていきます。

なお、15歳未満の方が「提供する」意思表示をした場合は無効となりますのでご注意ください

意思登録サイト

（中央のQRからアクセスできます）

インターネットでできる意思登録の仕方について

臓器提供に関する意思表示にはインターネットからの登録方法もあります。
臓器を提供したい方も、提供したくない方も、自分の意思を登録することができます。

意思登録サイトはこちら

インターネットでの意思表示のやり方は、「意思登録までの流れ」をご覧ください。



臓器提供意思表示カード

（リーフレットから切り離して使用します）



医療機関の臓器提供体制支援

腎臓提供協力病院連絡会議

宮崎県では、臓器提供の可能な12の医療施設を腎臓提供協力病院として指定されており、医師、看護師、ソーシャルワーカー等を移植情報担当者（院内移植コーディネーター）として委嘱し、臓器提供の意思をお持ちの方やご家族の願いを叶えるための体制を整備しています。これらの医療機関を対象に宮崎県移植推進財団では、県との共催で「腎臓提供協力病院連絡会議」を年2回開催し、県外講師による講演や意見交換等を行い、臓器提供・臓器移植に関する知識の向上を図っています。

10月31日に開催した今年度の第1回会議では、まず幼児からの臓器提供症例について、鹿児島市立病院の小児科 山田浩平先生と集中治療部の看護師長 取違里美様に講演いただきました。山下先生には医師として患者さんやご家族と向き合い、意思決定や支援に関わった貴重な臓器提供の経験とともに、いのちを守る現場での葛藤をお話いただき、私たちも共有できました。

また、取違様からは看護師長という立場と同時に院内移植コーディネーターでもあり、日々ご家族との対話を通じて、意思決定の支援や、臓器提供の際には様々な関係部署との調整に尽力されておられるお話があり、看護師の皆様がどれほど深く患者さんご家族に寄り添い支えておられるかを改めて感じました。

続いて、こどもの死という重く深いテーマについて、医療者として向き合うべき視点を学ぶ機会として、県立宮崎病院の小児科 大平智子先生に「子どもの死をめぐる課題－宮崎県小児救急の現場から－」の講演をいただきました。先生からは日々の医療現場の中で、こどもを亡くされる家族と向き合うことは、医療者にとっても大きな意味を持つこととお話いただくとともに、医学的な視点だけでなく、グリーフケア、そしてCDR（Child Death Review）などの制度的な取組みについても触れていただきました。こどもの死に向き合うことは、医療者にとっても辛いことですが、多職種で支え合うことで、よりよいケアにつなげていけると感じました。

臓器提供施設連携体制構築事業

この事業は、脳死下及び心停止後の臓器提供の経験が豊富な施設（拠点施設）が、臓器提供の経験が少ない施設等（連携施設）に対して、臓器提供が可能な者を確実に把握し、適切に終末期医療の一環として臓器提供に関する説明を行い、脳死判定から臓器摘出までのマニュアル作成や人材育成等について助言するとともに、臓器提供が可能な事例が発生した際に、拠点施設と連携施設の間で医師、看護師、院内ドナーコーディネーター、検査技師、その他臓器移植に係る所定の研修を修了した者等の各職種が応援に駆けつける等の支援を行うことで、地域における臓器提供体制の構築を図ることを目的としています。県内では今年度から県立宮崎病院が参加しています。

拠点施設：鹿児島大学病院

連携施設：宮崎県立宮崎病院、鹿児島市立病院、鹿児島県立大島病院、米盛病院、今村総合病院

【トピックス】南九州臓器提供セミナー

臓器提供につながる可能性のある患者が発生した際に必要となる知識・技術の向上を目指し、グループワークを通して終末期ケアについて理解を深めるとともに、前述の「連携体制構築事業」を理解し南九州全体での移植医療の体制整備に役立てることを目的に11月22日「南九州臓器提供セミナー」が開催され、連携施設となっている県立宮崎病院の先生方にも参加いただきました。

セミナーでは、臓器提供の適応や禁忌・除外例を学ぶグループワークやバッドニュースを伝えるロールプレイを通して、患者・家族に寄り添う終末期ケアについて考えました。また、基調講演として、国内屈指の臓器提供経験をもつ京都第二赤十字病院の救急集中治療科部長 成宮博理先生から「患者・家族の意思決定支援」と「臓器提供に関わる施設支援の実際@京都」についてお話しがありました。本セミナー開催を契機に、本県でも移植医療体制の充実が期待されます。



賛助会員・寄付について

公益法人である当財団の運営は、活動の趣旨に御賛同いただいた方々からの賛助会員会費や寄付金で支えられています。深く感謝申し上げます。

この号では、令和7年1月から12月の間に御協力をいただいた皆様をご紹介します。温かい御支援、誠にありがとうございました。



特別賛助会員ご芳名

※ 50 音順、敬称略 ※ 公表に御承諾いただいた方のみ掲載

家村内科	一般社団法人日向市・東臼杵郡薬剤師会	一般社団法人南那珂医師会
一般社団法人宮崎県銀行協会	一般社団法人宮崎県歯科医師会	一般社団法人宮崎県腎臓病協議会
一般社団法人宮崎県薬剤師会	一般社団法人宮崎県臨床検査技師会	一般社団法人宮崎市郡歯科医師会
医療法人紫陽花会 わたなべ小児科	医療法人育成会矯正・小児ひまわり歯科	医療法人恵喜会 西都病院
医療法人慶仁会 ふくどめクリニック	医療法人憲優会 オーシャンクリニック	医療法人絃和会 平和台病院
医療法人財団シロアム会 新城眼科医院	医療法人社団児玉小児科	医療法人社団修養会 盛田内科クリニック
医療法人社団昇陽会 たまきクリニック	医療法人社団仁和会 竹内病院	医療法人社団清風会清風会クリニック
医療法人社団せんなり小児科	医療法人社団日高 アイレHDクリニック	医療法人社団百喜会 上野医院
医療法人社団福生会 ふくだ泌尿器科	医療法人十全会みのだ泌尿器科医院	医療法人修和会戸倉医院
医療法人春光会 春光会記念病院	医療法人仁愛会横山病院	医療法人伸和会延岡共立病院
医療法人聖美会 南宮崎ヤマモト腎泌尿器科	医療法人誠和会 和田病院	医療法人隆徳会 鶴田病院
医療法人宮崎中央ふかお透析内科クリニック	医療法人雅会 河野整形外科	医療法人由耀会 さわの内科クリニック
医療法人養気会 池井病院	医療法人よしき会 どんぐりこども診療所	医療法人与州会柳田病院
医療法人YM会 山下医院	医療法人緑耀会小緑内科クリニック	雲海酒造株式会社
落合内科	株式会社テレビ宮崎	株式会社戸高コーポレーション
株式会社ハズマン	株式会社宮崎日新聞社	株式会社宮崎放送
霧島ホールディングス株式会社	公益財団法人宮崎県健康づくり協会	公益社団法人宮崎県医師会
公益社団法人宮崎県看護協会	小林市立病院 互助会	コマツ宮崎株式会社
社会医療法人泉和会 千代田病院	社会医療法人同心会 古賀総合病院	地方独立行政法人西都児湯医療センター
特定医療法人健腎会 おおぬきクリニック	特定医療法人健腎会 おがわクリニック	のだ小児科医院
都城市郡医師会病院ナース会	宮崎オーシャンライオンズクラブ	宮崎ガス株式会社
宮崎ケーブルテレビ株式会社	宮崎県アイバンクライオンズ協力会	宮崎県透析医会
宮崎県農業協同組合西都地区本部	宮崎県立宮崎病院	宮崎市郡医師会病院
宮崎電子機器株式会社	米良電機産業株式会社	有限会社蛸原木材工業

一般賛助会員ご芳名

※ 50 音順、敬称略 ※ 公表に御承諾いただいた方のみ掲載

壹岐和彦	今村公則	今村清美	岩崎恵子	岩見晶臣	内田俊浩
蛸原夕起子	大野たき子	甲斐恵子	鹿島寛俊	鎌田伸次	川越正敏
川野美奈子	古賀正広	小牧斎	坂本三智代	重盛俊郎	田場香織
鶴田まゆみ	徳山美和	外山景一	永友政行	永野秀子	橋本文人
花房かおり	濱砂潤子	濱田政雄	日高孝治	松田のり子	松本卓也
松元友絵	宮田純一	森迫和仁	盛田英規	山内良澄	横山幸子
吉山政子					

一般寄付ご芳名

※ 50 音順、敬称略 ※ 公表に御承諾いただいた方のみ掲載

医療法人杏林会三股病院	医療法人尚生会上田内科	学校法人宮崎日本大学学園
串間ロータリークラブ	社会福祉法人浄信会認定こども園みまつ	税理士法人アイビーパートナーズ
まつばし川野整形外科	宮崎はまゆうライオンズクラブ	
愛甲良子	池田史枝	池田雄市
岩田恵美子	内田真理菜	大山孝治
櫛間彩夏	窪かおり	久保範通
坂下香代子	澤田浩武	清水真弓
田中風美	田中ゆかり	津田君彦
西森学	二宮陽子	温谷莉早
平田雅昭	福田芳光	牧浩一
持永展孝	森中健徳	守屋喜代
吉玉典生		
		石元公貴
		小畑知子
		黒木英治
		高木加代子
		寺町真由美
		山元総太
		山本哲志
		泉大介
		金子彰彦
		米田由紀
		武田真理子
		中川優馬
		東美代子
		松本茂
		山元総太
		山本哲志
		今村左千夫
		川崎一臣
		近藤文乃
		田迫昭彦
		長嶺由香里
		日高貴
		向窪恵乃郎
		山本哲志

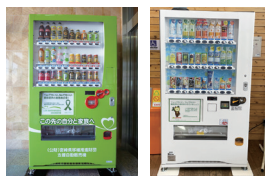
100 円寄付者ご芳名

※敬称略 ※公表に御承諾いただいた方のみ記載。官公庁は自治体名のみ記載

一般財団法人 宮崎県公衆衛生センター	一般社団法人宮崎県職員互助会	学校法人日章学園 宮崎医療福祉専門学校	カリタスの園 竹の寮
川南町食生活改善推進協議会	ケアトピアみやざき	公益財団法人宮崎県観光協会	公益財団法人宮崎県建設技術推進機構
公益財団法人宮崎県産業振興機構	公益財団法人宮崎県市町村振興協会	公益社団法人宮崎県森林林業協会	公益社団法人宮崎県畜産協会
西都商工会議所	児童養護施設さくら学園	社会福祉法人晴陽会からの里高鍋事業所	社会福祉法人都農町社会福祉協議会
社会福祉法人富高福祉会富高保育園	社会福祉法人友隣会 ワークセンター悠々工房	障害者支援施設 白浜学園	聖心ウルスラ学園高等学校看護専攻科有志一同
都農町食生活改善推進協議会	日南看護専門学校	日南ライオンズクラブ	都城北ライオンズクラブ
都城さくしまライオンズクラブ	都城シティーライオンズクラブ	都城商工会議所	宮崎北ロータリークラブ
宮崎県後期高齢者医療広域連合	宮崎県国民健康保険団体連合会 職員有志一同	宮崎県森林組合連合会	宮崎県中小企業団体中央会
宮崎県町村会	宮崎県道路公社	宮崎商工会議所職員有志一同	宮崎東ロータリークラブ
養護老人ホーム 鈴峰園			
宮崎県庁	宮崎市役所	都城市役所	延岡市役所
西都市役所	えびの市役所	高原町役場	国富町役場
門川町役場	諸塚村役場	椎葉村役場	美郷町役場
		高千穂町役場	日之影町役場
			五ヶ瀬町役場

支援型自動販売機の設置によりご寄附いただいた団体

(2か所、50 音順、敬称略)



左：コカ・コーラボトラーズジャパン(株) 川南町役場に設置

右：都城ヤクルト販売(株) 県都城保健所に設置

支援型自動販売機は飲料ベンダーのご協力を得て、飲物代金の一部を財団に寄附していただくもので、移植医療推進の広告塔の役割も兼ねています。当財団では、検討前の事前相談にも応じていますので、お気軽にお問い合わせください。

活動を支える賛助会員・寄付募集へのご協力をお願いします

賛助会員

特別会員（法人、団体）：年会費 2万円

一般会員（個人）：年会費 千円

寄 付

一般寄付
金額は御協力いただける範囲

100円寄付（職場、学校等のグループ単位）
お一人 100 円以上を募金感覚で寄付し所属でまとめて振込・送金

※当財団への賛助会員・寄付金は、**税制上の優遇措置の対象**となります。

臓器移植のことを学んでみませんか ～ 出前講座のご案内

当財団では、医療従事者養成校のほか、中学校、高校、大学などに臓器移植コーディネーターを講師として無料で派遣しています。受講生に合わせた内容ですのでお気軽にご利用ください。詳細はホームページをご覧ください（電話でのお問い合わせにも応じております）。

編集後記

“いのちの 릴레이” ポスターコンテストには、今年も臓器提供の目的をしっかりと学習した跡が窺える作品が多く集まりました。また昨年ゼロだった中学校での出前講座にも、今年は複数校から講師派遣の依頼があり、「寄り添うこと」「やさしさ」「思いやり」といった臓器移植にも深く関連する助け合いの気持ちは本県の若い世代にも着実に浸透していると感じました。学校関係者の皆様のご尽力に深く感謝申し上げます。

【お問い合わせ先】

公益財団法人 宮崎県移植推進財団

〒880-8501

宮崎市橘通東 2 丁目 10-1 県防災庁舎2階

宮崎県福祉保健部健康増進課内

TEL 0985-25-3106

FAX 0985-26-7336

URL <https://m-is yokusuisin.com/>

当財団オリジナル啓発用メッセージ

思うだけでは伝わらない

YESでもいい NOでもいい
臓器提供の意思表示をお願いします。

意思表示の方法



公益財団法人 宮崎県移植推進財団